

使用教科書：東京書籍「化学」

月	考査 等	指 導 内 容
4		第2編 化学反応とエネルギー 2章 電池と電気分解
5	中間考査	第1編 物質の状態 1章 物質の状態
6		2章 気体の性質 3章 溶液の性質
7	期末考査	4章 固体の構造
8		■夏季休業中課題
9	課題考査	
10	中間考査	第2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 第3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ
11		2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡
12	期末考査	■冬季休業中課題
1	課題考査	第4編 無機物質 1章 周期表と元素
2		2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物（2族まで）
3	学年末考査	■春季休業中課題
〈目標〉		〈評価の観点〉
<p>化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。</p>		<p>定期考査や授業中に行う小テストの解答や，実験レポート，課題などの状況から，主に〔知識・思考力・判断力〕また学習内容の理解度および定着度を測定する。</p> <p>授業や実験における態度・行動等、提出物の記述内容などを通して，主に〔技能・表現力・学びに向かう人間性〕また学習に対する意欲や態度などを評価する。</p>